

2015 年 12 月 1 日
株式会社グラフィン**MIPI D-PHY(v1.2) CSI-2 に対応した 2.5Gbps x 4Lane の画像入力ボード
GPLAB-2500-4PDPS の販売を開始**

テクノホライゾングループ(JASDAQ:証券コード 6629)の株式会社グラフィン(本社:東京都品川区南大井3-20-5 代表取締役社長:黒澤智明)は、次世代スマートフォンに搭載される高画素・高速 CMOS イメージセンサの評価・製造に必要とされる MIPI*¹ D-PHY*²(v1.2) CSI-2*³に対応した画像入力ボード GPLAB-2500-4PDPS を開発し販売を開始いたします。

GPLAB-2500-4PDPS は、MIPI D-PHY(v1.2) CSI-2 に準拠し 2.5Gbps x 4Lane という高帯域の画像データ通信に対応する画像入力ボードです。光インターフェース PC ボードを採用する事によって今後ますます高機能化される次世代の高画素・高速イメージセンサを採用したスマートフォン・携帯電話用次世代カメラモジュールの出力信号をフレームドロップなしで画像入力することができます。電源供給、消費電流測定機能も搭載していますので次世代カメラモジュールの評価や製造実験を簡単に行う事ができます。また、ノート PC やタブレット PC での簡易的な実験評価が行えるよう USB3.0 対応の GPLAB-2500-4UDPS も同時販売いたします。

最近のスマートフォンはデジカメ機能だけでなく 4K ムービー機能までも一般化しようとしています。次世代トレンドではイメージセンサの更なる高速化が必要です。株式会社グラフィンでは 2018 年モデルに搭載される次世代イメージセンサに対応できる画像入力ボード GPLAB-2500-4PDPS/GPLAB-2500-4UDPS を他社に先駆けて開発し販売開始いたします。

*1: MIPI: Mobile Industry Processor Interface の略で、MIPI Alliance が策定するモバイル機器のカメラやディスプレイとのインターフェース規格。

*2: D-PHY: 携帯端末向けのディスプレイ、カメラなどの接続インターフェースとして標準化された物理層を指す。

*3: CSI-2: Camera Serial Interface -2 の略で、カメラとのインターフェース・プロトコルを規定した規格。

■ GPLAB-2500-4PDPS / GPLAB-2500-4UDPS の特長

- ・ MIPI D-PHY 2.5Gbps x 4Lane の画像データ通信に対応
- ・ 次世代 CMOS イメージセンサに対応した電源供給、消費電流測定機能の搭載
- ・ GPLAB-2500-4PDPS は光インターフェース PC ボードを採用しフレームドロップなしの PC データ転送を実現
- ・ GPLAB-2500-4UDPS は USB3.0 に対応し簡易実験が可能

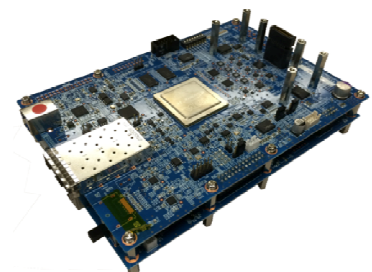


写真: GPLAB-2500-4UDPS

【このリリースに関するお問い合わせ先】株式会社グラフィン 営業部 TEL 03-5493-1211 E-mail: sales@g-in.co.jp URL: <http://www.g-in.co.jp>